

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	土木建築部 港湾課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	施設種別
	所在地	別府市新港町、船小路町、汐見町	
	設置目的	人の流れの拠点となる別府港石垣地区では、国際・国内観光港として機能を発揮させるため旅客上屋の整備、憩いの場となる緑地等を整備している。3号上屋は昭和56年に、緑地は昭和59年から平成3年までの間に順次供用開始してきたものである。機械管理駐車場は、放置車両対策の一環として整備を行い、平成12年10月に第1・第2駐車場を、平成13年7月に第3駐車場を供用開始したものである。	
指定管理者	名 称	株式会社ササキコーポレーション	
	代表者名	佐々木 勝吉	
	所在地	別府市新港町942番5号	
指定管理業務の内容		①港湾施設の使用許可(工作物の設置を伴うものを除く)に関すること。 ②港湾施設の利用促進に関すること。 ③港湾施設の維持管理及び修繕に関すること。 ④①から③のほか、港湾施設の設置目的を達成するために必要な事業に関すること。	
料金制度		利用料金	
指定期間		令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	

2 評価結果

評価項目							
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み				配点		評価点	
(1)施設の設置目的の達成		目標		40		32	
①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。 施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。		・事業計画に定めるイベントを全て滞りなく実施する。 ・一般参加が可能で30人以上の利用があるイベントの開催数が目標を達成する。 ・イベント参加者が100人以上となる日数が目標を達成する。		5	15	4	12
②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。また、複数の施設を一括して管理する場合は、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。		・設備の見直しを行うことで、施設利用者の利便性の向上が図られている。		5		4	
③施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。		・HPやSNSなどでイベントの誘致や開催などの告知をし、施設の利用促進を図る。		5		4	
【評価の理由】							
① 「30人以上の利用があるイベントの開催日数 年間100日以上」の目標を達成し、118日となった。 「100人以上の参加者があったイベントの開催日数 年間50日以上」の目標を達成し、51日となった。							
② ・新紙幣、新硬貨への対応を置こうなうことで利用者の利便性向上。 ・衛生管理に力を入れることによって、利用者から高い評価を得ることができた。							
③ 施設内での告知に限らず、HPやSNSなどのインターネットを通じてイベントの告知を行うことで、施設の利用を促すことができ、年間のイベント開催日数目標の達成につながった。							
(2)利用者の満足度		目標		配点		評価点	
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。		・施設の印象やスタッフの印象について、高い評価を得る。		3	15	3	12
②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。		・随時意見や要望を聞き入れ、適宜対応する。		3		2	
③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。		・苦情があった場合は早急に対応する。		3		2	
④利用者への情報提供が十分になされたか。		・インターネットを通じた告知を行うことで、広くイベントを周知させる。		3		2	
⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。(①～④以外に評価できる取り組みがある場合のみ)		・利用者が快適に施設を利用できる工夫を行う。		3		3	
【評価の理由】							
① 利用者へのアンケートにおいて、施設やスタッフの印象について良い評価をいただいている。(7割以上)							
② 新札、新硬貨に対応してほしいとの要望に、迅速に機械の入れ替え作業を行っている。							
③ 隣接する施設からの、緑地の枝葉が境界を越えて伸びているとの苦情に迅速に対応し、改善している。							
④ HPやSNSを通じた広報活動により、イベントを広く周知させることができている。							
⑤ 衛生管理の徹底として、トイレの清掃に力を入れ、利用者の多くから高い評価をいただいている。							

(3) 定性的な目標の達成状況 ① 定性的に定めた目標が達成されているか。(将来ビジョン等で定めた目標など)	目標 ・施設の利便性、快適性の向上のため、県営3号上屋内の最低限の改修を実施する。 ・新しい上屋建設に向けた集客イベントのトライアルの場とするため、地元を巻き込んだ新しいイベントを誘致する。	10	10	8	8
【評価の理由】					
① ・外壁の剥落箇所について速やかに修繕を行った。・施設の快適性向上のため、トイレの清掃を徹底し、利用者の多くから高評価をいただいた。 ・骨董蚤の市や別府マルシェ、リフォームイベントなど、参加者数が1000人を超える大規模なイベントの誘致を行い、イベント開催日数目標の達成につなげることができた。					
2 効率性の向上等に関する取組み				配点	評価点
(1) 経費の低減等 ① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 ② 主たる管理業務以外(清掃、警備、設備の保守点検等)について、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。 ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。	目標 ・指定管理者の創意工夫により経費を低減させる。 ・指定管理者の創意工夫により経費を低減させる。 ・指定管理者の創意工夫により経費を低減させる。	30	24		
【評価の理由】					
① 北浜ヨットハーバーとの資材、備品の共有により、経費の削減を心掛けた。 ② 特殊な技術を必要としない作業(日常的な管内清掃や緑地管理等)に関しては社員も参加し外注費用の抑制に努めた。 ③ 物価が高騰する中で、委託料額内での施設運営となるようメリハリをつけた経費の執行に取り組んだ。					
(2) 収入の増加 ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。	目標 ・施設利用者増加のための創意工夫を図る。	15	15	12	12
【評価の理由】					
① ・積極的なイベントの開催告知を行うことで利用者の増加を図り、イベント数の増加につなげることができた。 ・大規模なイベント時はヨットハーバーのスタッフを動員することで、人件費の削減に努めた。					

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み		配点		評価点	
(1)施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況		目標		3025	
①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。	・各施設における必要人員が確保されており、緊急時における対応も考慮する。	5	15	3	10
②職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか。	・必要に応じた研修により、施設管理に必要なノウハウを身につけてる。	5		3	
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	・地域や関係団体等との連携により地域に根付いたイベントを開催する。	5		4	
【評価の理由】					
① 人員は業務に応じて適切に配置されている。(統括責任者(所長)1名、指定管理事務1名、庶務経理・報告1名、各施設巡回3名、経理嘱託1名)					
② 他法人に体験型人事異動を行い幅広い職種を経験させ育成に努めるほか、外部で実施している各種研修会に対して積極的に参加している。					
③ ・別府港の賑わいを創出するため、別府国際観光港みなとまちづくり協議会等をはじめ、各種団体と連携し、別府ポートフェスタを開催した。 ・豊かな海づくり大会への施設の提供を行った。					
(2)法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など		目標(①、②のいずれかに×があった場合、評価点は0とする。 ③～⑧については、×1つにつき-2点の減点方式を取る。)		配点評価点	
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。	・法令違反を発生させない。	15		○	15
②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。	・個人情報漏洩等の事故を発生させない。			○	
③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。	・特定の個人団体を排除しない。(国や県等からの要請に基づくものは除く)			○	
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。	・モニタリングの結果、不適切な事案がないよう注意する。			○	
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	・管理側の瑕疵による事故を発生させない。			○	
⑥防犯や事故等の危機管理体制、防災士の配置など、防災に係る体制が適切であったか。	・定期的な巡回により事故を未然防止する。			○	
⑦防災に関する研修・訓練が効果的に実施されていたか。	・防災訓練を年に1回以上行う。			○	
⑧事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	・事故等発生時には適切な対応を行い、管理責任を問われる事象を発生させない。			○	
【評価の理由】					
① 法令違反は発生していない。					
② 当該指定管理者が定める個人情報保護規則の規定に基づき、適正な管理を行っている。定期職員研修などで周知を徹底しており、個人情報の漏洩等の事故は発生していない。					
③ 特定の個人団体を排除していない。また、駐車枠の拡大による車椅子利用者の利便性を確保した。					
④ モニタリングで不適切な取扱いがないことを確認した。					
⑤ 事故は発生していない。					
⑥ 24時間体制の巡回警備の実施による不審物の早期発見及び不審者の徘徊等の監視を行っており、事故の未然防止に努めている。					
⑦ 事業報告では実施した旨の記載はなし。					
⑧ 事故は発生していない。					

【選定委員の意見】

※今期で指定管理を終了し、公募を実施しないため対象外

【総合評価】

合計得点(100点満点)	81	評価ランク(A～E)	B
--------------	----	------------	---

【評価の理由】

- ・マルシェやオークション、フリーマーケットなどを定期的を開催し、利用客の確保につなげた。
- ・特に、目標として設定した「30人以上の利用があるイベントの開催日数 年間100日以上」、「100人以上の参加者があったイベントの開催日数 年間50日以上」のどちらも達成できたことが評価につながる。
- ・収入の増加により、施設の修繕も行うことができた。

【今後の対応】

- ・今年度も引き続き様々なイベントの開催により、集客に力を入れる。
- ・利用者の意見や要望等を積極的に聞き入れ、迅速に対応することで、施設利用の満足度につなげる。

【指定管理者評価部会の意見】

【評価】

1. イベント開催の目標指標を達成し、利用者数の確保に繋がっている点が評価できる。

【意見】

1. 壁面の老朽化を逆手に取って別府在住アーティストのワークショップによるペインティングを県民参加型で行うなど、再開発が始まるまでの期間、地域への愛着や再開発に向けた機運醸成や周知の活動として施設を活用してはどうか。

【施設所管課に対する意見】

1. 施設の有効活用に向けて、可能な限り条件を緩和し、指定管理者と取り組んでほしい。